

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 理事会（平成 30 年度第 3 回）

議事録

【日時】平成 30 年 9 月 2 日（日）18:00～21:30

【会場】神奈川県鍼灸師会 事務所

【次第】1、会長挨拶 2、出席確認 3、署名人指名 4、議事 5、閉会の辞

【出席 11 名】 理事：服部、秦、藤田、栗田、草山、小泉、清水、長野、林
監事：森下、日野
事務局：

【欠席 1 名】 理事：萱間

【議長】 服部会長 【書記】 藤田総務部長 【議事録署名人】 服部、森下、日野

【議題】

〔I〕 報告事項

1. 入退会の報告（藤田総務部長）5/27 以降 8 月 31 日まで

- ・入会者 5 名（6 月入会正会員：阿部義次、古思成人、鳥海春樹、福島哲也）
（7 月入会正会員：佐藤友理）
- ・退会者 2 名（5 月末 山本幹博：入退院繰り返し廃業、会費未納で自然退会）
（6 月末 小澤繁之：死去のため）

※学生会員は、20 名のうち、継続希望者かつ会費入金済みの 6 名のみを再登録

- ・8/31 現在の会員数 239 名（正会員 233 名、学生会員 6 名）
- ・現在審議中 1 名（学生会員：大橋萌）

2. みなし決議案（藤田総務部長）

- ・みなし決議（富士薬品の薬箱設置について）7/21 承認〈副会長 秦〉
- ・みなし決議（よこすかシーサイドマラソンについて）7/28 承認〈普及 小泉〉
- ・みなし決議（榊原保険副部長について）8/10 承認〈保険 長野〉
- ・みなし決議（窪田組織共済部員について）8/18 承認〈組織共済 清水〉
- ・みなし決議（紛失会員証再発行手数料案について）8/18 承認〈総務 藤田〉

以上について、理事 ML で承認された旨の報告がされた。

3. 会務報告（藤田、秦）

① 6/10 第 2 回業務執行理事会（服部、秦、藤田、栗田）

藤田総務部長より、業務執行理事会議事録を基に要点のみ報告がされた。

- ②6/10 平成30年度 日鍼会代議員総会（服部、秦及び日鍼会連盟委員日野）
秦副会長より、当会出席者の報告および滞りなく開催された旨が報告された。
 - ③7/17 臨時推進協協議会（服部、秦）※連盟
秦副会長より、資料に基づき要点のみ報告がされた。
 - ④7/20 災害協定及び県立保健福祉大学との連携に関わる協議会（服部）※連盟
服部会長より、資料に基づき要点のみ報告がされた。
 - ⑤7/22 第3回業務執行理事会（服部、秦、藤田、栗田）
藤田総務部長より、業務執行理事会議事録を基に要点のみ報告がされた。
 - ⑥8/5 関東ブロック正副師会長会議（服部、秦、藤田）
藤田副会長より、資料を基に要点のみ報告がされた。
 - ⑦8/22 第4回業務執行理事会（服部、秦、藤田、栗田）
藤田副会長より、議事録は現在作成中である旨が報告され、要点として（本日話の拳がる）会の有りようや会費値上げについて議論がされた旨が報告された。
 - ⑧8/25日鍼会主催・日本鍼灸會館お別れ会
藤田副会長より、会長代行として出席した旨の報告がされた。
 - ⑨8/26 平成30年度推進協納涼祭（藤田）※連盟<2名分の参加費納付>
藤田副会長より、当日は当会災害研修会があり、会長代行として当日挨拶のみ行ってきた旨の報告がされた。
 - ⑩8/30 第15回推進協協議会（服部、秦）※連盟
秦副会長より、資料に基づき要点のみ報告がされた。
- 以上、報告がなされた。

4. 各部報告

別紙報告書および口頭にて以下の各部報告がされた。

(1) 総務部（藤田）

- ①9月19日 10:00~17:00 にて県による公益社団法人についての監査がある旨が報告された。当会出席者は、服部会長、秦副会長、藤田総務部長(14:00~)、栗田財務部長、千葉財務副部長、日野監事である事も報告された。

(2) 財務部（栗田）

- ①会計業務のPCデータ化について、現在、千葉財務副部長が遂行中の旨が報告された。
- ②6月に行った県への公益社団法人の報告において、財政の改善化について意見交換が行われた旨が報告された。

(3) 学術部（草山、藤田）

- ①6月10日 平成30年度第2回学術講習会

「産業領域」（講師：岩昌宏先生、桜澤博文先生）、参加者20名

所感：鍼灸医療の職域拡大を考える上で、有益な旨が感じられる回となった。

なお、当日は他団体の行事と重なり、参加者が奮わなかった事も申し添えられた。

②7月11日 平成30年度第2回イブニングセミナー兼スポーツ研修会

「医学英語」（講師：大饗里香先生）、参加者23名

所感：初学者にとってスポーツ現場をイメージするには分かりやすい内容であった。

③9月2日午前 第1回新人研修

「臨床推論ワークショップ（めまい）」（講師：鈴木雅雄先生）、参加者19名

所感：鍼灸医療を考える上で、有意義な内容であったと考える。但し、

参加者が奮わなかった事、新人、若手が少なかった事が残念であった。

次年度は、組織共済部とも協調し、交流会などともタイアップを考えたい。

④9月2日午後 第3回学術講習会

「内科領域（めまい）」（講師：藤田洋輔学術統括、鈴木雅雄先生）、参加者24名

所感：午前中の臨床推論ワークショップと併せ、鍼灸医療として有意義な内容であったと考える。

⑤近い時期では9月12日に第3回イブニングセミナー（症例検討）、10月21日に第4回学術講習会（スポーツ領域）があり、奮って参加いただきたい。

以上が報告された。

（4）保険部（長野）

①6月3日 第1回保険取扱初心者講習会：参加者8名

②7月22日 第1回療養費適正運用研修会：参加者12名

*本年度、療養費が受領委任払いに変更する事に伴い、臨時の研修会も予定し、適切な申請、運用について周知を図っていききたい旨が報告された。

（5）組織共済部（清水、林）

①7月9日 例年同様、当会事務所にへ三井生命担当者が団体保険に関して挨拶に来訪された事が報告された。

②7月22日退任理事監事慰労会について、退任理事5名（清水慎司前会長、窪田勤前副会長、榊原範匡前保険部長、吉田志郎前理事、松原次良前監事）に対し、記念品を贈呈し慰労会を開催した事が報告された（出席退任者：清水前会長、窪田前副会長、吉田前理事）。

③今後の活動としては、9月9日にビギナーズの集い、11月18日に忘年会を予定しており、是非会員へ周知してもらいたい旨が報告された。

（6）広報部（秦）

①7/24 第1回IT委員会について、現在、秦副会長を統括、宋会員を部員として活動している旨が報告された（主にホームページについて）。

②今後の活動として、会報やアキューモの作成があり、萱間部長より原稿等の依頼があると思うが、協力をお願いする旨の報告がされた。

(7) 普及部 (小泉、秦)

①6/28 よこすかシーサイドマラソン第1回実行委員会 (秦、小泉)

今回は普及部員のみで参加し、募集をしない旨が報告された。

②7/8 横浜マラソン2018 プレイイベント「快適・夏ランクリニック」(秦)

別紙報告書を基に報告がされた。

③7/10 横浜マラソン2018 第1回主幹会議 (服部、秦、小泉)

別紙報告書を基に報告がされた。

④横浜マラソンについての会員 ML への配信について (小泉)

事務局へ会員 ML への配信を依頼したところ、エラーが続き合計5回の配信がされた。本件について、事務局へ確認したところサーバー等の不具合もあったと確認された事が報告された。会員への迷惑を考え、今後このような事が起こらないようにして欲しい旨が伝えられた。

藤田総務部長兼副会長より、なるべくこのような事は起こらないよう善処する事は大切であるが、事務局も前向きに(届かない事を心配し)行動した結果の失敗ではあるので、その点を理解していただき、会務全体で協調した活動を今後もお願いしたい旨が提示された。

(8) 危機管理委員会 (秦)

①7/11 第1回危機管理委員会 (秦、萱間)

②7/15 第2回危機管理委員会 (秦、萱間)

秦副会長より、委員会開催の報告がされた。

③8/26 日鍼会後援 東鍼会共催 第4回災害医療研修会 (秦、萱間)

秦副会長より報告がされ、参加申込は計32名、東京5名、他県3名、一般5名の申込があった事が報告された。

4. その他

①理事 ML について (藤田)

藤田総務部長より、理事 ML へ事務局を再度含める事が報告された。

意義としては、①事務局からのフォロー体制、②みなし決議等理事連絡システムの煩雑化、③事務局による会務把握のタイムラグ、より。

②日鍼会・医療連携講座及び日鍼会・スポーツ研修会について (藤田)

藤田総務部長より、前者は藤田業務執行理事、後者は秋澤会員へ、師会長推薦が発行され申込を個人よりされている旨の報告がされた。

〔Ⅱ〕 審議事項

1. 各部より

(1) 総務部：

①内務情報における守秘義務について（藤田）

藤田総務部長より説明がされ、全会一致で承認された。

理事・監事はこの場にて署名・捺印、事務局員は都度署名・捺印をする事となった。

また、併せて定款施行規則にも記載する事となった。

②賛助会員(個人)の年会費と賛助会員(個人・団体)のメリットについて（秦）

今までの議論や意見を基にした資料を提示し、全会一致で承認された。

(2) 財務部：

①特定費用積立金積立ての扱いについて（栗田）

別紙を基に提案がされ、全会一致で承認された。

②年会費引上げの検討開始について（栗田）

別紙を基に提案がされ、会費値上げの検討開始が全会一致で承認された。

(3) 学術部：

審議事項なし

(4) 保険部：

①関東甲信越厚生局神奈川支部と国保連への挨拶について（長野）

別紙に基づき提案がされ、全会一致で承認された。

②受領委任制度開始に伴う臨時研修会開催について（長野）

別紙に基づき提案がされ、開催する事についてのみ全会一致で承認された。

*参加費については、改めて提案される事となった。

③県内国保の取り扱いについて（長野、服部）

賛成多数で承認された（9名中8名）。

*本件について、同時に保険事業が公益事業への認定を得られるか、保険部の活動増も懸案事項となり、今後会長を中心に事業について検討して行く事が話し合われた。

(5) 組織共済部：学生会員入会審査一名（清水）

別紙の基づき提案がされ、大橋萌さんの学生会員入会が全会一致で承認された。

(6) 広報部：

①HP「この指とまれプロジェクト」活動のHP 掲載について（秦）

別紙に基づき提案がされ、全会一致で承認された。

* 藤田業務執行理事より、「この指とまれプロジェクト」について、発起提案者であるため現在管理を藤田業務執行理事が行っているが、部署の特性上、広報部への業務移譲が提案された。

広報部統括秦副会長より、今後検討、善処する旨が伝えられた。

②HP「認定」など別ページへの移動について（秦）

別紙に基づき提案がされ、全会一致で承認された。

* なお、日野監事より HP の管理を依頼しているインフォビジョン様との契約や取り交わしについての確認があり、書面等について秦副会長が確認する事となった。

(7) 普及部：丹沢湖マラソンの関わりについて（小泉）

小泉部長より、丹沢湖マラソン、当会の新しい事業である横須賀シーサイドマラソンが今後も同日に開催される可能性が報告され、その対応について、神奈川県鍼灸マッサージ師会に協力して行ってきた活動であり少なくとも前者について「会員への告知のみは行いたいと普及部長として考えている」旨が報告された。

* 補足として、参加者は 2014 年度 3 名、15 年度 6 名、16 年度 3 名、17 年度 3 名、また、一定した会員の参加ではない旨も付け加えられた。

理事内相談の結果、「会員へ告知のみ行う、参加会員がいた場合は管理者として理事 1 名は当会事業として参加する」と別案（当会の人員や予算より）「神奈川県鍼灸マッサージ師会に事情を説明し、後者に専念したい旨を相談し、前者は撤退の方向で進める」、以上 2 案が挙がり、審議の結果、前者が賛成多数で可決された（9 名中 7 名）。

(8) その他：

①公益事業に保険部を追加するための交渉について（服部）

服部会長より口頭に提案がされ、全会一致で承認された。

* 担当は、服部会長、日野監事が行き、会長に一任し進める事となった。

* また、同時に公益事業に認定されなかった場合も話し合わせ、その場合も当会の社会的な信頼性を担保する公益社団法人は維持する事も全会一致で承認され、その際の保険事業は別団体を立ち上げるなどの方法を検討する事も話し合われた。

②災害協定締結について（服部）

別紙に基づき提案がされ、全会一致で承認された（推進協にて締結を進める）。

③各養成校卒業式への当会出席者について（服部）

服部会長より口頭にて、会長のみ出席、また業務執行理事のみ出席、どちらにしても負担が集約するため、状況に応じて理事にも出席を検討していただきたいとの提案がされた。

全会一致で承認された。

〔Ⅲ〕 その他

1. 公益社団法人について、当会公益社団法人移行のプロセスについて（会長 服部）

服部会長より、新理事への理解促進のため、別紙を用いて当会が公益社団法人へ移行した経緯や意義の説明があった。

次回、平成30年度 臨時理事会

日時：11月18日（日）14:00～

場所：公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 事務所にて

以上で、すべての審議を終了し、理事会は閉会した。

（作成：総務部長藤田）

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

平成30年9月2日

代表理事

印

監 事

印

監 事

印